

こうべ環境未来館エコスクール2話 野草の観察と地球温暖化防止の学習会

生3 - 中島 洋吉

地球温暖化防止の学習会 ～未来の乗り物と

エネルギー工作教室～

こうべ環境未来館と栗本鉄工所、大阪ガスの共催、アースパル KOBE の協力で6月17日(土)10時から15時まで開かれました。参加者121名スタッフ52名という大人気の学習会となりました。

私たちは、毎日多くのエネルギーを使って生活しており、さまざまな環境問題の多くは、普段のライフスタイルが原因となっていることがほとんどです。このような観点から、エネルギーをテーマに電気やクルマの排気ガスやクリーンエネルギーをとりあげて子どもたちに地球温



燃料電池の電動カートを楽しそうに試乗する母子

暖化に関心をもってもらうとともに、地球温暖化を防ぐためにはどうしたらよいかを体験的に学び、身近なことから実践行動に結びつけてもらおうという企画でした。

今回のプログラムは、まずは6班に分かれて、班ごとに地球温暖化防止について話し合いをし、これから家に帰って実践することを班ごとに発表してもらいました。

次に大阪ガスの担当者からエネルギーを中心にした子どもにも分かりやすい内容の環境の話や、栗本鉄工所の水の電気分解と水素を利用した燃料電池の実験、アースパル KOBE の手動風力・太陽光発電器具を使ったクリーンエネルギーの実験、神戸市環境局の水とCO2を使った実験などがあり、班ごとに巡回して、話を聞いたり見たり体験しました。

その後、屋外に出て、大阪ガスの天然ガス車とディーゼル車の排気ガスの比較実験や大気観測車の説明を聞いたり、栗本鉄工所が持ってきていた世界初の「燃料電池を動力源とする電動カート」と日本初の「燃料電

池電動車いす」に試乗しました。午後からは扇風機を使って、弱、中、強、首振りでどれ位消費電力が異なるかを測定して、家電製品の使い方による消費電力の違いを実感したり、様々な家電製品の消費電力量を調べました。続いて、実際の風力発電でも用いられる羽根車をペットボトルを使って作成し、小型モーターの軸に取り付け、うまく回転させて発電させる工作

野草の観察とクッキング ～食べられる野草を探して 春を味わおう～

5月20日(土)午前10時から開催されました。前日の激しい雨で開催が危ぶまれましたが、幸い雨も上がりスタッフを含め参加者91名が一日を楽しみました。未来館周辺の西区押部谷町木津一帯は自然環境の豊かな田園地帯で、この自然環境の中で、子どもたちは野草を観察してまわりました。

スタッフとして参加したグループの野草に詳しい会員たちから野草の名前や食べられる野草を説明してもらいながら、野草の観察と野草摘みを楽しみました。摘み取った野草をスケッチし、またいろいろな野草の試食会など貴重な体験を通して、自然のありがたさや大切さに気づいたようでした。

午後からは野草の観察や採集した野草や七草を映像で説明を受け再確認しました。そのあと楽しみにしていた野草の試食会で、いろいろな野草

と実験に挑戦しました。いろんなアイデアを反映した羽根車ができあがり、大人も子どもも工作と実験に熱中していました。

午後からはあいにくの本降りの雨になりましたが、今回のプログラムを通して、普段何げなく使っているエネルギーと地球温暖化とのつながりや、それを防ぐためにはどうしたらよいかについて、たくさんのことを学び、エコスクールを終えました。

参加された方の感想の一部を紹介します。【子どもたちの感想】

- ・工作で羽根車を作ったのが楽しかったです。乗り物に乗ったのも楽しかったです。工作で作ったものを家でもやってみたいです。(8才女児)
 - ・燃料電池電動カートに乗ったのが楽しかった。これからはテレビのスイッチを細かく消します。地球がこのままであって欲しいから。(10才男児)
- 【大人の感想】・水素ガス車の試乗見学が楽しかった。扇風機は控えめに、お風呂はまとめて入りましょう。部屋の電気、テレビのつけっぱなしは控えます。(40才男性)



未来館のピオトープで野草や生きもの調べを調理したものを賞味しました。「こんな野草も食べられるなんて…」と和気藹々のうちに春の野草を楽しく味わいました。

最後に子どもたちに採取した野草をスケッチし、それぞれの感想を発表してもらい終了しました。参加した30歳のお母さんは「山菜取りに行きリーダーの生き辞引きの様な山野草の知識にびっくり!とても勉強になりました。藤の花やつばきの花が食べられるなんて驚きでした。山菜独特の苦みが旨いですね。これから山歩きや散歩にも野草を見ながら歩きます」と話していました。